

高専における企業倫理教育

吉 盛一郎*

Education on Business Ethics at KOSEN

Seiichiro Yoshi

We have to study on Bioethics, Environmental Ethics, Business Ethics and Computer Ethics. On JABEE Program students have to learn Ethics of Engineer, but we have not till now taught it well to them at KOSEN.

Persons who research Applied Ethics are thought to be many philosophers, but at business schools in America many clergymen are teachers.

Business Ethics belongs to Business Management and on Japanese Education we have no enough textbooks. Therefore we have not studied Business Ethics well at college and university.

Recently the number of persons who research Business Ethics increase and it is included in curriculums at college and university.

On this paper I want to say about what business Ethics is and to think about how we should teach it to students. And I want to say about CAI system on which students can learn Business Ethics by themselves.

Key Words: *Business Ethics, Bioethics, Environmental Ethics, Computer Ethics, Ethics of Engineer*

1. はじめに

教官と学生がともに考えていかなければならない学問に生命倫理学、環境倫理学、企業倫理学、情報倫理学という応用倫理学の分野がある¹⁾。日本技術者教育認定機構（J A B E E）の技術者教育認定においては、技術者倫理を身につけることになっているが、従来の高専教育ではこの分野が不足しているといわれてきた²⁾。

応用倫理学の研究者は哲学を専攻している人が大半かと思われるが、アメリカのビジネススクールでは、宗教家も教官となっている³⁾。

企業倫理は経営学の範疇に入り、日本のテキストでは、少ないページが割かれており、この分野の研究は軽視されてきた感がある。最近では研究者が増えてきており、企業（経営）倫理学単独の講座も大学のカリキュラムの中に入ってきた。本報告では企業倫理とは何かから論を進めて、学生にどのように教育していけばいいのかを考察していくことにする。また、学生が自己学習できるように、CAI（コンピュータ支援）システムを導入した

（2001年12月10日受理）

*宇部工業高等専門学校経営情報学科

学習についても論及していきたい。

2. 企業倫理とは

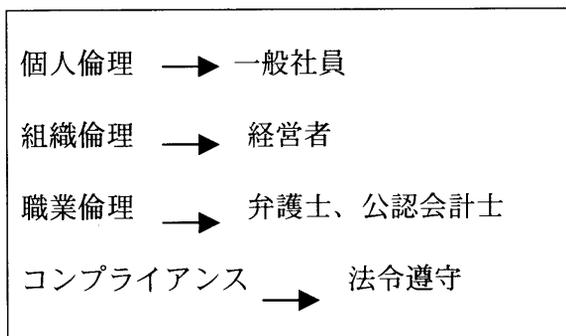
企業倫理は、企業活動をどのように正しくおこなうかに関するすべての倫理問題を対象として、ビジネスにおける誠実性であるという⁴⁾。

企業倫理は個人倫理、職業倫理と組織倫理という三要素を基盤として、経営者や社員、弁護士、公認会計士、医者等の専門職、企業組織がビジネスを行うときに行動基準となるものである。

企業不祥事の例として、企業による総会屋への利益供与、インサイダー取引、セクシャルハラスメント、談合、贈収賄、薬害や企業情報漏洩などがある。関係法令として商法、証券取引法、労働基準法、男女雇用機会均等法、独占禁止法、刑法、薬事法や不正競争防止法などがある。

個人、職業人、や組織人として法令を遵守する(コンプライアンス)ことは当然であり、企業倫理の核心部分となるものである(図1参照)。

図1 企業倫理のコンセプト



企業不祥事が発生すると顧客が離れ、売上が減少し、業績が悪化し、利益が減少する。また、社員の士気が低下して人材が流出する。株価も下落し、会社の信用が失墜すると格付けが下がり、資金調達コストが上昇して資金繰りが悪化する。

企業不祥事は、企業ブランドを著しく傷つけ、巨額な損失や罰金支払いなどによって経営的に多額の損害を被らせる。そこで、企業においては企業倫理の確立と実践が重要な課題となっている。

企業倫理やコンプライアンスへの取組みが求め

られる理由として、①企業が顧客や消費者の信頼を勝ち取り、市場で競争しなければならないこと、②企業は消費者の生命、健康、財産、人権などを守るため、誠実さを担保する仕組みを構築することを社会から求められていること、③経営者が株主訴訟等のリスクを軽減できることがあげられる。

3. 倫理法令遵守マネジメント・システムと企業倫理教育

最近の企業不祥事として、JOC東海事業所における臨海事故、雪印乳業集団中毒事件、三菱自動車工業、クレーム・リコール隠しなどがある。また、ハエやトカゲなどが食品に混入する事件もあり、国民の安全が脅かされる事件が相次いでいる。

ここで今までに国民の安全を脅かした事故や事件を業界でみとめることにする。

食品-食中毒、医薬品-薬害エイズ、建設-手抜きや談合、金融-不良債権、サービス-過労死、ネット通信-個人情報、医療-ミス、警察-内部腐敗、廃棄物処理-ダイオキシンなど多くの業界で事故、事件が起きて国民の生命、健康、財産、プライバシー、環境や労働を脅かしている。

企業には倫理法令遵守(コンプライアンス)体制の構築が求められている。国民が安全な社会生活をおくれるように、企業は社会的な影響を自覚しなければならない。環境への配慮、社会貢献、労働環境の改善など、より広い倫理実践について情報公開を進めなければならない。

麗澤大学経済研究センター「企業倫理研究プロジェクト」が倫理法令遵守マネジメント・システムを構築している。その仕組みは次のようになっている。①計画、②実施と運用、③監査、④見直しというプロセスを繰り返しながら業務を改善していく。

まず、倫理法令遵守の基本方針、倫理綱領、各種遵守マニュアルを作成して、実施計画を策定する(計画)。

次に中心的な部署や責任者を決定する。教育トレーニングやコミュニケーション活動を実施し、文書管理、運用管理や緊急事態に備える（実施と運用）。

監査においては現場レベルでモニタリングを行い、計画的どおりにシステムが機能しているか、体系的にもチェックする。

最後に経営層による見直しがある。倫理関連部署からの意見や提言を踏まえて、倫理法令遵守方針、綱領、内規などの改定やマネジメントシステムの見直しが行われる。

教育現場では、事例を研究して何故、企業不祥事が起きるのかを考える。演習で各自に問題点を発表をしてもらう。法律や規則、企業倫理を遵守しないと事件や事故が起きることを確認していく勉強が大事になってくる。

雪印乳業の食中毒事件では、大阪工場製造の低脂肪乳で食中毒症状が起り、大阪府警が現場検証を開始し、大阪府が低脂肪乳から黄色ブドウ球菌の毒素を検出して、食中毒と断定した。経営者が返品された牛乳を低脂肪乳に再加工して出荷したことによる、食品衛生管理法の遵守義務違反事件であった。雪印乳業株は急落して、各地の工場閉鎖もあって、経営危機も叫ばれた事件であった。経営者が売れ残り商品を再加工し、出荷して、消費者の健康を脅かしても企業業績をあげようとする企業側の営利至上主義が大事件を起こしてしまった。

消費者への対応を誤り、マスコミに対する説明責任がうまく果たせないときは結果として、企業に壊滅的な打撃を与えることになった。

また、三菱自動車工業のリコール隠しでは、クレーム案件を30年間隠していた疑惑が表面化した事件であった。株価は下がり、企業業績は大幅に落ち、結果的に外国企業の支援を仰ぐことになった。

経営者としてはリコールがあったときに速やかに消費者やマスコミに誠意ある対応をしておれば、企業業績も急落しなくて外国企業の支配下

に入ることもなかったと思われる。経営者の企業倫理に反する事件であった。

最後に山一証券事件をみてもいいことにする。顧客企業から産運用をまかせてもらう「営業特金」とよばれる一任勘定を行い、利回り保証・損失補填を約束していた。株価下落で顧客企業の保有株に評価損が発生した場合、決算で損失が表面化する前に他の企業に転売するという「飛ばし」行為を重ねていた。飛ばしによる損失補填の方法としては、山一のペーパーカンパニーを含む子会社が飛ばしの対象となった株式などを時価を上回る価格で引き取ったり、また、海外の子会社である山一オーストラリアに国内の顧客の含み損を移転するという巧妙な方法が用いられていた。

損失補填は明らかに証券取引法違反である。また、簿外処理した莫大な損失を秘匿した粉飾決算を続けて、株主に違法配当して商法にも違反している。

企業も社会を構成する一市民である限り社会責任が求められて、責任も大きくなる。企業経営者には誠実な会社作りが求められている。社会ルールや規範を守って実践していくことであり、問題があれば主体的に学習して改めてより誠実な会社を作っていくことである。

学生は、企業の不祥事を学ぶことによって、経営者が誠実に会社を経営しなければ、企業は持続的な成長はありえないことを学習する。

4. CAIシステム導入による企業倫理教育

企業倫理、職業倫理を学習するために、参考になるものが、麗澤大学経済研究センターが提案する「企業倫理とコンプライアンス（法令遵守）に関する一般基準」である⁵⁾。

ITを使った学習を簡単にシュミレーションしてみる。質問と答え（Q&A）に採点をして改善すべき所をコメントするシステムを構築する。

たとえば、次のような事例についてCAI（Computer Aided Instruction）システムを用い

た企業倫理、職業倫理学習をすることになる。

学生が、入社時の新人のとき、数年後の中堅社員のときや幹部社員になっているときを想定して数社の経営理念からQ&Aを作成してみることにする。

Q：貴方は顧客の満足を第一とし、よりよい製品、よりよいサービスを提供しますか。

A：1. はい 2. いいえ

Q：貴方は 良き企業市民として行動しますか。

A：1. はい 2. いいえ

Q：貴方は、当社の社会的責任と公共的使命を確認し、健全な業務運営を行いますか。

A：1. はい 2. いいえ

Q：あなたは、就業規則、社是、社訓を遵守しますか。

A：1. はい 2. いいえ

Q：あなたは自己責任原則を基本とし、フェアで透明なビジネスを行いますか。

A：1. はい 2. いいえ

Q：あなたは利益と倫理が相反する場合、迷わず倫理を選択しますか。

A：1. はい 2. いいえ

Q：あなたは、反社会的要求には断固とした姿勢で臨みますか。

A：1. はい 2. いいえ

Q：あなたは、すべての関係者の人権を守り、地域社会との共存を図りますか。

A：1. はい 2. いいえ

ここでより身近な設問を提示してみる。

Q：「この取引をすれば50万円儲かる」という金融商品を勧めますか。

A：1. はい 2. いいえ

Q：「事故車」でないといって重要事項について事実を隠して中古車を販売しますか。

A：1. はい 2. いいえ

Q：訪問販売で「帰ってください」と言われたのに退去せず、深夜まで勧誘を継続しますか。

A：1. はい 2. いいえ

Q：衛生管理上の仕組みやルールを軽視し、多くの食中毒被害を出した企業に対して、経営上やむを得ないと思いますか。

A：1. はい 2. いいえ

Q：エイズ感染の恐れがある非加熱製剤を売り続けた企業に対して社会的責任がないと思いますか。

A：1. はい 2. いいえ

Q：議事録の改ざんや違法マニュアルの作成といった効率性重視の経営が臨界事故を引き起こしたと思いますか。

A：1. はい 2. いいえ

Q：太陽光発電パネルの出力に虚偽記載があっても、企業経営上、消費者からの信頼を失墜するかもしれないと思っても販売しますか。

A：1. はい 2. いいえ

Q：ヒトのクローン個体の作成をもたらす恐れのある研究は人類にとって有益なものといえますか。

A：1. はい 2. いいえ

Q：企業は土壌汚染の修復やダイオキシン対策に費用を余りかけないでいいと思いますか。

A：1. はい 2. いいえ

Q: 生命工学の開発では、人間性の根幹を冒すような危険なものが造られる可能性があるが、人間が生きていくためにはやむをえないことと思えますか。

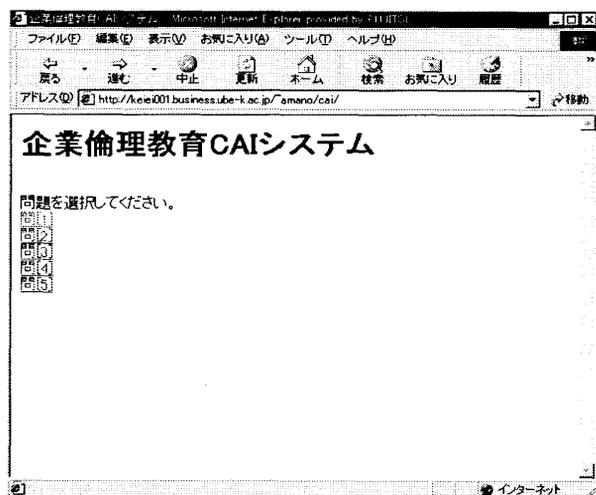
A: 1. はい 2. いいえ

高専生にはものづくりの学習をしている学生が多いと思われるので、環境にやさしいものを作るための技術者倫理を養成できる設問を考えたい。

企業全般に起こりうる事例から、上記のような内容で50問を数組作り、CAIシステムを用いて、各自で倫理法令遵守の学習を定期的に行う。

学生は授業の前半では事例研究をして、何が企

図表2 企業倫理学習システム



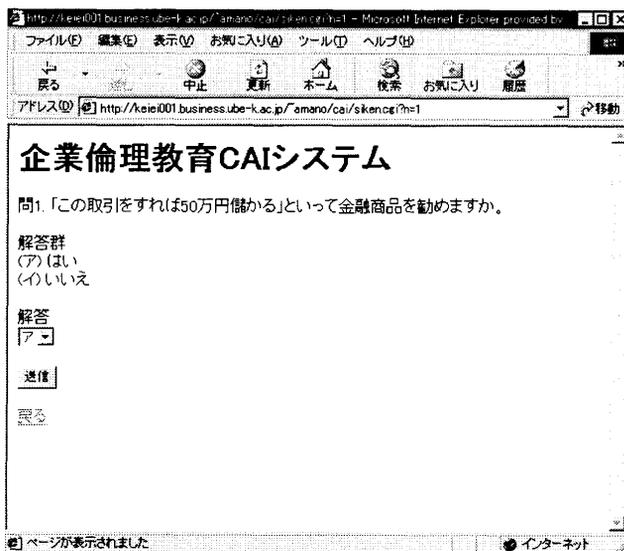
MLで作成し、各主要用語に対しては他のWebへリンクをはり、理解を深める。

学生がコンピューター環境のなかで企業倫理を学習して、すなわち、本システムを用いることによって、教官と学生が双方向で倫理観を高める教育を目指す(図表2、3、4参照)。

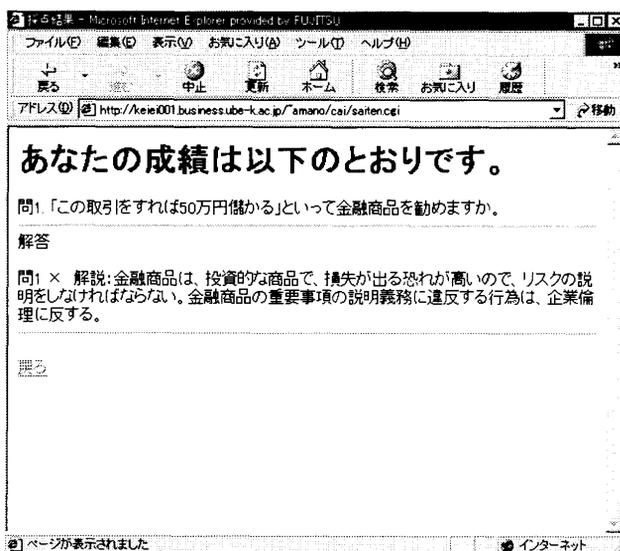
自己採点し、点数によってコメントに違いがあればより効果的な学習になる。

問題も多くのパターンを用意して、頻繁に問題を解くことによって企業倫理に対して学生の意識が大いに高まることが期待される。

図表3 企業倫理学習システム



図表4 企業倫理学習システム



業倫理に反するのかの報告と討論を行い、後半は各自でCAIシステムを利用して学習する。事例研究とシステムの併用学習によって倫理法令遵守の意識が高まることが期待される。

5. おわりに

システムはHTML、CGIプログラムで構成し、プログラムには、Visual Basic を使用して作成する。学生はインターネット上で学習できる。このシステムは教材(文章、画像、音声等のマルチメディア教材)と練習問題である。教材はHT

なお、本研究の一部は平成13年度科学研究補助金（基盤研究C(2) 課題番号1360175）の助成を受けたものです。

引用文献

- 1) 加藤尚武、応用倫理学入門、1-2頁、晃洋書房、2001年
- 2) 大成博文、高専における「技術者教育認定」の受容問題、高等専門学校の教育と研究、第5巻第3号、3頁、2000年
- 3) Thomas R.Piper, *CAN ETHICS BE TAUGHT?*、ハーバードで教える企業倫理、訳小林俊治 他、生産性出版、249-260頁、1995年
- 4) 田中宏司、コンプライアンス、23-28頁、生産性出版、1998年
- 5) 麗澤大学経済研究センター、倫理法令遵守マネジメント・システム、128頁、麗澤大学出版会、2000年

methacryloyloxyethyl phosphorylcholine) (MPC) was synthesized from radical polymerizations of MPC with 2-aminoethane thiol and 2,2'-azobis(isobutyronitrile). Oligo(MPC) was reacted with ethacryloyloxyethyl isocyanate (MOI) in the presence of di-*n*-butyltin dilaurate to obtain MPC macromonomers (MPCmac) bearing a vinyl group.

MPCmacs were radically copolymerized with butyl methacrylate (BMA) to give corresponding copolymers [poly(BMA-*co*-MPCmac)]. Membranes of the copolymers adsorbed bovine serum albumin (BSA) much less than those of poly(BMA) and poly(BMA-*co*-MPC), and depressed BSA adsorption even though the MPC content was relatively low.

(*Faculty of Engineering Yamaguchi University)

(学会発表)

波多野慎悟*, 鬼村謙二郎*, 堤 宏守*, 大石 勉*, 山崎博人: "セルロース複合膜の合成と生分解性", 第50回高分子学会年次大会予稿集, 50 (5), (IPc127, p. 878), 2001. 5. 23-25.

パルプ粕を精製し、セルロース原料として用いた (Pulp)。Pulp をスクシニル化したセルローススクシナートをアセチル化することにより、水溶性セルロース (PSAAc) を合成した。合成した PSAAc を用いてポリビニルアルコール (PVA) との複合膜を調製した。加熱による縮合反応や、ヘキサメチレンジイソシアナート (HDI) を用いた架橋反応によって、膜の架橋処理を行った。未処理の膜、加熱処理膜、HDI 処理膜の引っ張り強度試験を行った結果、HDI 処理膜では十分な引っ張り強度に加えて、非常に高い破断伸びを示した。これら3種類の膜について土壌埋設による生分解性試験を行った結果、架橋処理を施すことによって生分解加速が抑制されることがわかった。

(*山口大学工学部)

岡田憲昌*, 波多野慎悟*, 鬼村謙二郎*, 堤 宏守*, 大石 勉*, 山崎博人: "化学修飾セルロースの合成と応用", 第50回高分子学会年次大会予稿集, 50 (5), (IPd138, p. 884), 2001. 5. 23-25.

セルロース原料としてパルプ粕 (Pulp1~4) を用い、化学修飾パルプを合成した (セルローススクシナート (PSAc)、セルロースマレアート (PSAc))。同じような条件下では PSAc は PSAc より高い置換度 (DS) であった。Pulp3 と無水コハク酸とをピリジン中で反応したときに最大置換度 (DS=1.60) であった。しかし、これらの化学修飾パルプはガラス転移点 (T_g) をもたなかった。そのため、以下の2つの条件でパルプ粕と ϵ -カプロラクトンとのグラフト重合を行った。錫触媒と用いたバルク条件下で得られたグラフトコポリマーは 75°C 付近に T_g

をもった。一方、DMAc/LiCl 系で得られたものは 95~135°C 付近に T_g をもった。

(*山口大学工学部)

大石 勉*, 山崎博人, 鬼村謙二郎*, 福嶋俊之*, 盛橋誠司: "リン脂質を有するフマルアミドを組み込んだハイドロゲル膜の合成", 第50回高分子討論会予稿集, 50 (14), (IPf080, p. 3675), 2001. 9. 12-14.

リン脂質であるレシチンの極性基であるホスホリルコリン基を有するモノマーとして、イソプロピル-2-{2'-(トリエチルアンモニウム)エチルホスホリル}エチルフマラメート (IPTPFA) を合成した。IPTPFA と 2-ヒドロキシエチルメタクリレート (HEMA) を種々の架橋剤と水の存在下で重合し、ハイドロゲル膜を合成した。ハイドロゲル膜の牛血清アルブミン (BSA) による抗タンパク質吸着性、含水率および力学的強度を検討した。poly(IPTPFA-*co*-HEMA)ゲル膜は poly (HEMA)ゲル膜に比し、BSA 吸着性を抑制し、含水率を増加することが判った。得られたハイドロゲル膜の破断強度、破断伸度の値は、それぞれ最高 68.4g/mm², 239%であった。

(*山口大学工学部)

吉盛一郎: 高専における企業倫理教育, 平成13年度高等専門学校教育教員研究集会概要集, 論文番号 58, 2001. 8.

応用倫理学に、生命倫理学、環境倫理学、企業倫理学や情報倫理学等がある。日本技術者教育認定機構 (JABEE) の技術者教育認定においては、技術者倫理を身につけることになっているが、従来の高専教育ではこの分野が不足しているといわれてきた。

企業倫理は経営学の範疇に入り、最近はこの分野の研究者が増えてきており、企業 (経営) 倫理学単独の講座も大学の単独のカリキュラムの中に入ってきた。本報告では、学生が自己学習できるように、CAI (コンピュータ支援) システムを導入した学習について述べている。

吉盛一郎: 企業倫理と CAI システム, オフィスオートメーション学会第43回全国大会予稿集, 117-119, 2001. 9.

企業倫理は、企業活動をどのように正しく行うかに関するすべての倫理問題を対象にして、ビジネスにおける誠実性であるという。企業倫理は個人倫理、職業倫理と組織倫理という三要素を基盤として、経営者や社員、弁護士、公認会計士、医者等の専門職、企業組織がビジネスを行うときに行動基準となるものである。

企業不祥事の例として、企業による総会屋への利益供与、インサイダー取引、セクシャルハラスメント、談合、贈収賄、薬害や企業情報漏洩などがある。

社員が不祥事を起こさないためには、事例研究と CAI システムを併用した定期的な研修と自己学習が必要で